

平成 27 年 11 月 4 日

2015 年関東・東北豪雨災害 土木学会・地盤工学会合同調査団の
調査報告会が筑波大学で開催されました

9 月 10 日の関東・東北豪雨災害の発生に伴い、土木学会と地盤工学会は、水工学、地盤工学等の専門家による合同調査団を発足させました。本学からはシステム情報系構造エネルギー工学域の松島亘志教授（地盤工学）が調査団に参加しています。

これに伴い 10 月 16 日に現地合同視察が行われ、その後 16 時より調査報告会が筑波大学にて開催されました。合同視察と調査報告会には松島教授とシステム情報系構造エネルギー工学域の白川直樹准教授（河川工学）が参加しました。報告会には全国から 42 名の専門家が集い、今回の豪雨災害に関する知見の情報交換を行い、本学からは白川研究室の坂本貴啓さん（システム情報工学研究博士後期課程構造エネルギー工学専攻 3 年）が「筑波大学白川研究室の常総水害対策活動の取組み」と題し、報告を行いました。

今後も被災地近隣の学術研究拠点として、豪雨災害復興へ貢献してまいります。

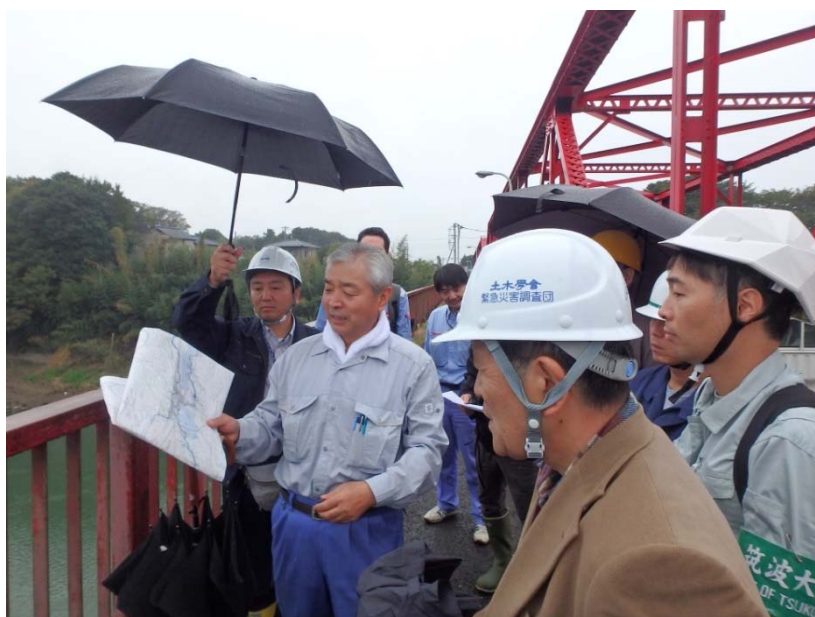
参考 URL :

◆土木学会水工学委員会水害対策小委員会 Facebook

<https://www.facebook.com/JSCesuigai>

◆土木学会 2015 年関東・東北豪雨災害 土木学会・地盤工学会合同調査団の結成について

<http://committees.jsce.or.jp/report/node/88>



土木学会・地盤工学会合同現地視察の様子



調査報告会の様子（筑波大学工学系 F 棟にて）



筑波大学からの報告（構造エネルギー工学専攻 D3 坂本貴啓さん）